

## 2023 年度 事業計画

3 年に及ぶコロナ禍も落ち着きを見せる中、2023 年度の事業計画はコロナ期に棄損した協会運営の立て直しと新たな環境変化に対応した体制構築を進めつつ、協会のミッションである会員社ビジネスのサポートとDMメディアの価値発信を引き続き行うことを目指す。

### ■協会の魅力を強化しながら会勢拡大に注力し運営基盤を立て直す

コロナ禍の影響により会勢減少が最大の課題となっている。会員の減少傾向に歯止めをかけ、新規会員獲得につなげるために、年会費の検討、会員向け新サービスの開発等従来とは異なるレベルの施策を実施する。協会の魅力を強化することを通じて会員数の回復を図っていくことを目指す。

事業収益も回復基調ではあるが、オンライン配信コストの増加もあるため一層の集客をしつつ運営基盤強化を図っていく。

### ■デジタルシフトの中でのDMメディアの新たな価値を、必要とする企業に対してアピールしてゆく

新ロゴ「リアル&デジタル」のスローガンで、デジタル時代のDMメディアの位置付けと当協会のスタンスを明確にしたが、デジタルメディアでは不可能な機能、BtoB領域の活用が進む人的営業代替可能なメディアといったDMの価値を、通販・EC系クライアントや印刷・発送関連業界等に対して一層アピールしていく。

定点観測の「DMメディア実態調査」のファクトデータをはじめ、「全日本DM大賞受賞作」等の事例研究・発信を通じて、現在のマーケティング状況にふさわしいDMビジネス活性化と、会員社のビジネスに貢献できる具体的なメリットの開発、提供を推進する。

### ■オンライン化による全国ベースの事業基盤強化

2022 年度も引き続き演習主体の「DM制作教室」を除き、「DMマーケティングエキスパート」、「DMマーケティングプロフェッショナル」、「DM成功事例セミナー」、「データドリブン・コミュニケーションセミナー」等主要な研修セミナーと「DMマーケティングエキスパート」認証試験をオンラインで実施した。全国ベースでの事業展開が可能となる中、新たに全国展開や地方の会員社や受講者に対する告知やサービス充実等の課題に積極的に取り組むこととする。

また、認証取得者への体系的なフォローやオンラインコンテンツの活用、新たなサービス開発等、会員社にとっての使い勝手向上と収益向上を進めることで収益基盤を強化していく。

### ■デジタルマーケティング時代におけるDMの機能や役割について研究・発信を進める

DMを取り巻く社会やマーケティング環境が大きく変化しつつある中「データベースマーケティング委員会」を中心に、データ活用周りのマーケティングオートメーション、人工知能等の新事業領域の情報収集を図りつつ、その他SDGs等の課題に対する研究発表やセミナー等の情報発信も積極的に行い、会員・非会員に向けたアプローチを進める。

## **総務・財務委員会**

1. 一般社団法人として財務の健全化及び基盤強化に努める。

新型コロナウイルス感染症拡大により新しい行動様式が定着してきた昨今において、当協会でもセミナー等収益事業のオンライン化等が進んでいる。しかし、財政基盤となる会勢拡大においては、緊急事態宣言や外出自粛のビジネス環境下で対面での新規開拓が難しい中、年々会員数の減少傾向にある。協会の存在価値を高め、財政基盤の強化と安定した運営を今後も続けるために、より広い層の事業者が参加しやすい会費区分を設ける。

2. 入会促進キャンペーンとして新たな入会特典を設け、会員相互の発展と会勢拡大に努める。

3. 賀詞交歓会、総会・懇親会などの運営を担い、会員の情報交換・親睦の場を提供する。

新型コロナウイルス感染症拡大により、当協会でも対面による交流からオンラインによる新しい行動様式を進めている。ニューノーマルと言われる新しい行動様式を念頭におきながら、社会情勢を鑑みて会員の交流の機会を検討していく。

4. 個人情報保護法の改正など個人情報に関連した社会動静に対して、協会としての対応を検討する。

5. 倫理綱領及び個人情報保護法に準拠し、協会の社会的信頼維持と法令遵守に努める。

6. 電子帳簿保存法の改正に伴い、事務処理規定等を改訂する。

## **ダイレクトマーケティング委員会**

1. DM成功事例セミナー2023(会場&オンデマンド配信)

全日本DM大賞の上位入賞制作者による、最新の優秀DM事例を紹介するセミナーとして、5月26日(金)に東京会場(日本印刷会館)でのリアル開催と、当日の様子を収録し6/2(金)~6/30(金)の29日間、オンデマンド配信で開催予定。事例紹介、受賞作品の概要を含めた構成とする。

2. DMマーケティングエキスパート研修会(会場&オンデマンド配信)

第19回DMマーケティングエキスパート研修会を6/15(木)、16(金)の2日間、東京会場(日本印刷会館)でのリアル開催と、当日の様子を収録し6/23(金)~7/6(木)の14日間、オンデマンド配信で開催予定。修了試験は、リアル開催参加者は6/16(金)に会場で実施し、オンデマンド配信参加者は6/26(月)~7/7(金)の期間内にオンラインで実施。「DMマーケティング」=DMを売る方法、営業系の知識の伝授に特化したカリキュラムとし、新たにデジタル×アナログについての講座を追加。また、「新DMの教科書」を公式テキストとして活用する。

3. DMマーケティングプロフェッショナル研修会(会場&オンデマンド配信)

第9回DMマーケティングプロフェッショナル研修会を7/13(木)、14(金)の2日間、東京会場(日本印刷会館)でのリアル開催と、当日の様子を収録し7/21(金)~8/3(木)の14日間、オンデマンド配信で開催予定。修了試験は、リアル開催参加者は7/14(金)に会場で実施し、オンデマンド配信参加者は7/26(月)~8/4(金)の期間内にオンラインで実施。クライアントに対する提案・営業に加えて、現状のDMのクリエイティブのヒントやリバーズエンジニアリング指導もできるスキルを持つ上級の資格と位置付け、各都道府県のDMマーケティングプロフェッショナルが地域のDM市場の普及・拡大を支援可能となるようネットワークづくりを目指す。

4. DM制作教室

第37回DM制作教室を10/12(木)、13(金)の2日間、日本印刷会館にて開催予定。「ワークショップ形式のセミナー」としてコピーライティング演習、DMのリバーズエンジニアリング演習など制作系の技術知識に特化した内容とする。

5. 派遣型DM講座

オンライン化を含めた更なるニーズ発掘に向け、メニューのバリエーション強化も今後検討していきたい。

6. DMマーケティングエキスパート試験(試験独立)

今年度も引き続き、オンライン試験システム(CBT)で実施予定。出題範囲は「新DMの教科書」に準拠し、選択問題と計算・記述問題で120問前後とする。

#### 7. DMマーケティングエキスパート認定資格試験 事前対策セミナー

今年度も引き続き、認定資格試験の事前対策として3時間程度のセミナーを10月にオンデマンド配信で開催予定。

#### 8. 研修事業運用インフラ費

2019年度にDMマーケティングエキスパート、DMマーケティングプロフェッショナル、DMアドバイザーの資格取得者の拡大とセミナー・研修会参加者の把握管理・クロスセルを目的としてデータベースシステムを稼働。協会が主催するすべてのセミナー・研修会参加者情報を管理し、資格保有者向けフォロープログラムとして定期的にDMに関するお知らせをメールで配信。また、オンデマンド配信する各研修会の講演動画はZoomを使用して収録し、コスト削減を図る。

#### 9. 入会キャンペーンに伴う新サービスの開発、導入

新入会員入会キャンペーンに伴う新サービスとして、DMビジネスのスキル・ノウハウの提供と、DM提案のサポートを目的として下記のサービス導入を検討。6月以降実施に向け、準備をする予定。

- (1)「DM基礎講座(仮)」とした、会員社限定のオンデマンドコンテンツ(3種)の無料提供。入会したら無料でいつでも視聴ができるようにする。配信するコンテンツはDMマーケティングエキスパート研修会のダイジェスト、全日本DM大賞2023のトレンド、DMメディア実態調査からみたDMのFACTを想定。
- (2)DM提案のサポートを目的とし、DMマーケティングプロフェッショナルで使用している「DM診断シート」を活用した「DM診断」サービスの導入。1件につき会員社は5万円、非会員は10万円とし、新入会員は初回無料で利用できる。その後のフォローとして、近隣エリアの資格取得会員社の紹介も検討。
- (3)会員社が主催するイベント等へ講師を派遣し「DM相談会」の対応を行う(詳細スキームは別途検討)。

### **データベースマーケティング委員会**

引き続き「進化形DM≡データ×DMの文脈でDMの価値を再定義する」をテーマに、リアル&デジタルの作業フローやコンテンツ活用について検討し最適化を探求する。

また、データドリブン・コミュニケーションの調査、研究について勉強会を実施。下記の活動を行い、最終的に対外発信・発表を行う。

- (1)課題解決ディスカッション…委員各社のwithコロナ、アフターコロナの課題を持ち寄り、解決策を協議。自社1社では得られない解決策を導く。
- (2)共同研究会…データドリブンの実施事例を紹介し合い、他社事例を知る。
- (3)進化形DMの開発方向性やPoCの手法を検討
- (4)DB2023 各種研究と成果発表セミナー(仮称)…前述の結果などを12月~2月くらいに成果発表セミナーとして対外発表。有償セミナーとし、収益への寄与と、協会への入会促進にもつながるように、発信・活動していきたい。

### **研究開発委員会**

#### 1. DMの市場等調査

2012年度から実施している定点観測型の「DMメディア実態調査」を今期も引き続き実施する。

DMに関する数少ない定期的な情報提供コンテンツであり、「日本のDMの現状」として会員社には会員特典として詳細完全版を協会ホームページ・会員専用ページで公開、無償提供。非会員には有償で提供する。

#### 2. コンテンツの販売

研究開発委員会管轄の調査データ、レポートを中心としたコンテンツを、広報委員会、総務・財務委員会と連携し、協会ホームページ経由で外販する。

(1)「DM FACTBOOK」 2016、2018 …DMメディア実態調査、全日本DM大賞入賞事例をベースとした営業用ツール。※会員社には会員割引あり。

(2)「DMメディア実態調査 調査報告レポート」 2013、2014、2015、2016、2017、2018、2019、2020、2021、2022  
※会員社には無料で提供。

(3)「若年層のDM意識」 ※会員社には無料で提供

## **ロジスティクス委員会**

郵便、メール便などについて利用関連業界の立場から、配達事業者などとの接点を持ち、疑問・問題点などについて改善施策が得られるような活動を行う。

### 1. 現場見学会の開催

物流センターほか、DMや配送に関連する現場見学会を開催する。

### 2. 「DM情報ガイド」の改訂

改訂版はいつでもスタートできる状況ではあるが、内容の精査とニーズ、リリース時期について引き続き検討する。

## **広報委員会**

### 1. 協会報の発行

・協会ホームページ内「DMニュースブログ」を年4回(四半期ごと)更新する。

### 2. メルマガの発信

・セミナー案内や官公庁の調査報告、業界のお知らせ等を、メルマガを利用してよりスピーディに伝達する。原則月2回配信。セミナー・研修事業申込受付期間中は定例配信とは別に、臨時メルマガを配信する。

・「全日本DM大賞(2023)の作品事例PDF」をオファーにメルマガ登録推進キャンペーンを行う。

### 3. DMレポートの発行

・「全日本DM大賞」、「DMメディア実態調査」、「広告動向とDM」、「データベースマーケティング委員会 成果発表セミナー」他5本程度を協会ホームページに発表する。

### 4. 協会ロゴマーク使用に関する確認、承認

・会員社より提出される協会ロゴマークの使用申請について、内容を確認、承認作業を行う。

### 5. 広告募集

・協会ホームページバナー広告及びメルマガ広告の募集を行う。

## **その他**

### 1. 業務受託の受付

これまで同様、「会員社限定・協会運営のスケジュールに支障・競合とならない範囲で」を前提条件に、業務受託の契約を締結した上で実施できることとする。

### 2. 新型コロナウイルス感染症拡大防止などへの対応について

新型コロナウイルス感染症拡大防止などへの対応は、社会の動向を踏まえながら、協会事業運営のために必要な措置を引き続き講じていく。

- ・セミナー等のオンライン(フィジカルとの併用含む)での開催。フィジカル開催時は換気、消毒、ソーシャルディスタンスの確保、参加者の体調確認、マスク着用確認などの対応策。
- ・事務局職員の同時感染による協会・事務局機能ストップを防ぐため、少なくとも事務局繁忙期である6月末まではテレワークを継続。ただし感染爆発時の対応策として行っていた職員1名のみ出勤＝ワンオペレーションは中止し、事務局4名のうち2名ずつのシフト勤務を行い、事務局機能の維持に備える。